

迷い犬の連絡が増えています

昨年末から2月にかけて、迷い犬が徘徊しているという連絡や、飼い犬がいなくなったという連絡が多く寄せられています。犬の場合は噛み付く事故が発生する可能性があります。相手が小さい子どもだったら取り返しのつかない事になりかねません。また、犬が幹線道路などに迷い込み、交通事故で大切な命を失ってしまうかもしれません。

古くなったリードは交換する、首輪が緩んでないかを確認するなど、もう一度チェックをお願いします。



ごみは分別してごみの種類ごとに定められた日に捨てましょう

2月3日、不燃・埋立ごみを回収していたごみ収集車の中のごみが燃える事故が発生し、収集していたごみの一部が燃え、ごみ収集車が故障しました。

ごみ収集カレンダーを配布します

平成28年度(4月～翌年3月)のごみ収集カレンダーを配布します。

3月15日(火)にそれぞれの行政区嘱託員(区長さん)宛てに発送しますので、組長さんなどを通じて順次ご自宅へ届く予定です。

カレンダーが届かなかった場合や、違う地区のカレンダーが届いた場合は、役場環境保全課窓口にも置いてありますので、窓口でお受け取りください。

窓口での配布も3月15日(火)から予定しています。

ごみの無断持ち去りを見かけたら

家庭から出た指定袋に入った所定の場所に置かれている資源ごみを、軽自動車などで勝手に持ち去る事故が発生しています。

そのような行為を見かけた時は直接注意などせず、車種、色、ナンバーなどの特徴を、役場環境保全課へご連絡ください。覚えておく範囲でかまいません。ご協力をよろしくお願いします。

燃えたごみを確認したところ、中には

ガス缶、ファンヒーター、乾電池など発火の原因になるごみも含まれていますが、これらは不燃・埋立ごみではありません。

きちんと分別してあれば起こらない事故です。場合によっては重大な事故につながる可能性があります。

収集するごみを全て確認し、回収することはできません。もう一度ごみの分別区分を確認いただき、適切なごみ処理のご協力をお願いします。

詳しいごみの分別については町のホームページのごみ分別大辞典(<http://www.town.ozu.kumamoto.jp/guide/life/gomijien.html>)または、役場環境保全課窓口で配布している冊子「ごみの分け方出し方」をご覧ください。

分別は

- ・ガス缶→資源ごみ(びん缶類)
- ※中身を使い切って穴をあけガスを抜く
- ・ファンヒーター→資源ごみ(小型廃家電)
- ※袋に入らない物は粗大ごみです。
- ・乾電池→不燃埋立ごみの日に、市販の透明の袋に入れて
- ・プラスチックライター→燃えるごみ
- ※中身を使い切って

包括支援センター便り



●問い合わせ 町地域包括支援センター

☎096(292)0770 ☎096(292)0771

知っていますか! 「在宅医療」 わが町で自分らしく暮らすために

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、医療や介護、生活支援などを一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を各団体会が協力して推進することを目的とし、1月31日、菊池市文化会館にて菊池市医師会・歯科医師会・薬剤師会・熊本県訪問看護ステーション連絡協議会・熊本県介護支援専門員協会と菊池市・合志市・大津町・菊陽町の在宅医療の充実を図る協定の締結式が行われました。

同日午後からは「在宅医療」をテーマに講演会が行われ、医療・介護ジャーナリストの塩田芳享先生からは『住み慣れたわが家で迎える理想の最期』として基調講演があり、菊池市医師会在宅医療担当理事の宮本浩光医師からは『きくち在宅医療ネットワークについて』菊池市医師会の取り組み報告がありました。

特別講演では岐阜県小笠原内科院長で日本在宅ホスピス協会会長



締結式の様子

補足として

- ・分別やごみ出し日が間違っている事が分かったごみは、ごみ置場から回収しませんので、間違えのないようお願いいたします。
- ・不燃ごみ袋には名前を書いてください。
- ・灯油(液体類は全て)は回収できません。暖かくなる前に、残さないよう使い切りましょう。
- ・食品(容器に入った物)は回収できません。中身は可燃ごみ、容器のビン類・缶類は洗って資源ごみです。



収集車中のごみが発火し危険な状態になりました